



大樹のこころ

説明会&モラル講習会

修学旅行まで一月半となりました。小学校6年間の最大の行事である修学旅行。その説明会が本日举行されました。説明会には保護者の皆様に対して行われるのが通例ですが、今年は6年生の子供たちも参加しました。新型コロナウイルスが2類から5類になりましたが、感染リスクが下がったわけではありません。コロナに加えてインフルエンザの流行も懸念されている現在。修学旅行が学級閉鎖・学年閉鎖などで延期となる場合も想定されます。そのような場合の対応について、旅行社の方にも参加していただき、説明・確認をしていきました。説明会の最後には、修学旅行での見学先や宿泊する旅館を写真で紹介しました。写真映像を観ながら、子供たちは旅行への夢を広げていきました。

さて、今回の修学旅行説明会。いつもとは若干異なるものとなりました。それは、説明会の後に「情報モラル講習会」を入れたことです。情報モラルは、指導の重要性が年々高まってきています。本校でも1学期に、教頭先生が4~6年生を対象にモラル教育を実施してくださいました。ある程度子供たちの意識は高まったと言えます。しかし、子供が実際にスマートフォンやインターネットなどの情報機器に触れ合うのは、家庭の場です。子供と保護者と共に学ぶことで、ネットに対する意識がより高まると考えました。そこで、保護者が説明会に来校するこの機会に実施することにしました。

講習会の講師は「総務省東海総合通信局」の総務事務官を中心とする4名です。いわばプロ中のプロ。さすがの講話内容で子供も保護者も話に引き込まれていきました。ネットの危険性について①ネット依存②ネットいじめ③怪しい情報の拡散④誘い出し・なりすまし⑤個人情報⑥ネット詐欺⑦著作権・肖像権のカテゴリーに分けて説明してくださいました。また危険性についてだけでなく、それに対する対応法も伝えてくれます。ネットに動画をアップした子供の顛末を紹介したアニメでは、子供たちが食い入るように映像を観ていました。提示される資料もわかりやすく、そして無駄なく講話が進みます。時間が過ぎるのが早く感じるほど密度の濃い内容でした。

今回の情報モラル講習会は、本当に意味のあるものとなったと思います。ネットについての「ルール作り」をする家庭が増えるのではないでしょうか。修学旅行説明会と情報モラル講習会。来年度以降もセットで行っていきたいと考えています。

